

■施策評価シート 14-01-①

まちづくりの基本目標	「暮らし」支えるまち		分野	環境
基本方針	良好な環境の保全と創出		基本方針に関連するSDGsの目標	
施策番号	14-01-①	施策名	自然環境の保全	

施策の概要

自然と私たちの生活・社会活動とが密接に関係していることを理解し、身近な自然に関心を持つ機会を設け、地域の自然環境を保全・創出する活動を市民・地域・事業者等と連携して進めます。

成果指標(単位)	「いきもの自然学校」受講者数(名)				
	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
目標値	(※基準値)	0	40	50	60
実績値	0	0			

成果指標実績に対するコメント

総合的に環境が学べるモデル地域を2学区(志津、笠縫東)設定し、関係機関、地域、団体等と協議を重ねて、令和4年度からの事業展開に向けた調整を行った。

施策の達成度評価

令和3年に策定した第3次草津市環境基本計画に基づき各種事業を推進した結果、重点事業1「いきもの自然学校」に関する取組については、令和4年度の事業展開に向け、モデル地域と協議を行い、専門家の意見を取り入れ、環境学習プログラムの開発に取り組むなど一定の効果がみられた。また、より良好な自然環境保全地区を次世代に継承するため、16地区の危険木調査を実施し、15地区の危険木を特定した。

評価に基づいた令和5年度の取組についての考え方

重点事業1「いきもの自然学校」については、受講者が自然に関心を持ち、地域の自然環境の保全・創出につながる事業を目指し、まちづくり協議会等の関係機関と連携を強めながら、事業内容の充実を図る。また、事業について市ホームページ等で発信し、周知を図っていく。自然環境保全地区については、保全地区の管理者等に対し、危険木除去費等に対する補助を行い、危険木除去を促進し、保全地区の保全を図り良好な自然環境を維持する。

■施策に含まれる主要事業一覧

主要事業	担当課	成果達成度 (主要事業のみ)	達成度評価理由
自然環境保全啓発推進事業	環境政策課	○	令和3年に策定した第3次草津市環境基本計画の重点事業1「いきもの自然学校」や重点事業2「地域資源健康ラリー」の事業実施に向け、関係機関、地域、団体等と連携を図ることができたため。

■施策に含まれるその他の事業一覧

事務事業	担当課
環境審議会運営事務	環境政策課
基本計画策定事業	環境政策課

成果達成度の表示について

◎ 期待を超える成果があった
○ 期待どおりの成果があった
△ 期待未達の成果であった

※施策に含まれる事務事業のうち、主要事業についてのみ記載しています。

■施策評価シート 14-01-②

まちづくりの基本目標	「暮らし」支えるまち	分野	環境
基本方針	良好な環境の保全と創出	基本方針に関連するSDGsの目標	
施策番号	14-01-②	施策名	環境汚染、環境負荷対策の促進

<p>施策の概要</p> <p>事業所等への適切な指導・啓発をはじめ、河川の水質調査など環境調査の継続実施を行います。</p>

成果指標(単位)	河川の水質における環境管理基準(BOD)の達成状況(達成回数/調査回数)				
	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
目標値	(※基準値)	24/24	24/24	24/24	24/24
実績値	18/24	20/24			

<p>成果指標実績に対するコメント</p> <p>狼川で年間12回の測定のうち4回が未達成となったものの、伊佐々川で12回すべてが基準値内となり、全体の達成回数は令和2年度より増加した。なお、狼川流域の工場排水調査を重点的に実施し原因特定を目指したが、原因特定には至らなかった。</p>

<p>施策の達成度評価</p> <p>河川の水質調査については、調査の結果、狼川で12回の測定のうち4回が環境管理基準を超過したため、今後も河川監視の強化、規制対象の事業所の排水調査に努めるとともに、規制対象外の事業所に対しても調査や啓発等を行っていく必要がある。事業所等指導については、定期的な事業所立入り、環境負荷が大きいと懸念される事業所への定期的なパトロールを実施し、積極的な指導啓発を行った。</p>

<p>評価に基づいた令和5年度の取組についての考え方</p> <p>狼川流域の河川監視の強化、規制対象の事業所の排水調査に努めるとともに、規制対象外の事業所に対しても調査や啓発等を行っていく。また、今年度も引き続き定期的な事業所立入り、環境負荷が大きいと懸念される事業所への定期的なパトロールを実施し、積極的な指導啓発を実施する。</p>

■施策に含まれる主要事業一覧

主要事業	担当課	成果達成度 (主要事業のみ)	達成度評価理由
事業所等指導事業	環境政策課	○	定期的な事業所立入り、環境負荷が大きいと懸念される事業所への定期的なパトロールを実施し、積極的な指導啓発を実施できたため。
環境調査事業	環境政策課	○	令和2年度と比較して、環境管理基準(BOD)の達成回数が増加したため。

■施策に含まれるその他の事業一覧

事務事業	担当課
市街地排水浄化施設維持管理事業	河川課
浄化槽法等指導事業	上下水道施設課
流域下水道維持管理費負担金事務	河川課

成果達成度の表示について

- ◎ 期待を超える成果があった
- 期待どおりの成果があった
- △ 期待未満の成果であった

※施策に含まれる事務事業のうち、主要事業についてのみ記載しています。

■施策評価シート 14-01-③

まちづくりの基本目標	「暮らし」支えるまち		分野	環境
基本方針	良好な環境の保全と創出		基本方針に関連するSDGsの目標	
施策番号	14-01-③	施策名	環境学習の拡充	

施策の概要

市民・地域・事業者等と連携のもと、市内に点在する自然、文化、食、歴史など地域資源を活用した体験型の環境学習・環境保全活動を推進し、主体的に活動する環境まちづくりを進めるとともに、環境活動に取り組む団体等の活動支援や活動する人材の発掘・育成を行います。また、環境に関する情報発信や環境への関心が深まるイベント、啓発活動を行います。

成果指標(単位)	こども環境会議参加団体数(団体)				
	令和2年度 (※基準値)	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
目標値	(※基準値)	68	70	72	74
実績値	0	46			

成果指標実績に対するコメント

新型コロナウイルス感染症禍での新たな手法として交流の部をオンライン開催とする準備を進めたことや、YouTube「くさつチャンネル」による環境学習活動の発信等を行った。交流の部は中止となったが、今後に向けて新たな手法の検討を行うことができた。

施策の達成度評価

令和3年に策定した第3次草津市環境基本計画に基づき、環境学習社会づくりとして、環境学習教材の貸出や環境学習への講師派遣を実施した。こども環境会議については交流の部をオンライン開催とする準備を進めたことや、YouTube「くさつチャンネル」による環境学習活動の発信等を行い、新型コロナウイルス感染症禍での新たな手法の検討を行うことができた。

評価に基づいた令和5年度の取組についての考え方

市民が環境に関心を持ち、様々な環境学習が行えるよう、市ホームページやイベント等で環境学習情報を発信するとともに、講師派遣や貸出教材のさらなる充実を図る。また、こども環境会議では、交流やつながりが深まるよう実行委員会において内容の充実を図るとともに、開催について広報等で周知を行い、事業所、団体、大学等多種多様な参画が図れるよう参加の呼びかけを行う。

■施策に含まれる主要事業一覧

主要事業	担当課	成果達成度 (主要事業のみ)	達成度評価理由
環境学習推進事業	環境政策課	○	新型コロナウイルス感染症禍での新たな手法の検討を行うことができたため。

■施策に含まれるその他の事業一覧

事務事業	担当課

成果達成度の表示について

- ◎ 期待を超える成果があった
- 期待どおりの成果があった
- △ 期待未満の成果であった

※施策に含まれる事務事業のうち、主要事業についてのみ記載しています。

■施策評価シート 14-02-①

まちづくりの基本目標	「暮らし」支えるまち		分野	環境
基本方針	脱炭素社会への転換		基本方針に関連するSDGsの目標	
施策番号	14-02-①	施策名	様々な主体の自主的な取組の支援とネットワークの拡充	

<p>施策の概要</p> <p>脱炭素社会への転換に向けた取組を支援するため、愛する地球のために約束する協定をはじめ、様々な主体が自主的に取り組むための制度・仕組みづくりを行うとともに、自主的な取組を促す情報提供やネットワークの拡充を図ります。</p>

成果指標(単位)	草津市地球冷やしたい推進協議会の会員数(者)				
	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
目標値	(※基準値)	77	79	81	83
実績値	75	76			

<p>成果指標実績に対するコメント</p> <p>草津市地球冷やしたい推進協議会の会員数は、団体解散により1者減少したが、「愛する地球のために約束する協定」の締結に基づき、新たに協定会員が2者増加し、全体としては1者増加となった。新型コロナウイルス感染症の影響により、事業者や団体等への啓発機会が少なく目標値には届かなかったが、商工観光労政課と連携して市内企業に呼び掛けたり、まちづくりセンターへ啓発チラシを配布した成果が表れたものとする。</p>

<p>施策の達成度評価</p> <p>「愛する地球のために約束する協定」の周知活動の結果、協議会員が新たに増加した。しかしながら、新型コロナウイルス感染症の影響により今後も啓発活動が制限を受けるなか、新たな会員増加手法の検討が必要である。加えて、令和3年12月に行った気候非常事態宣言を機に若者(Z世代)の声を市の温暖化施策に反映することが重要であると考えており、若年層が参加する団体への呼びかけを検討する必要がある。</p>
--

<p>評価に基づいた令和5年度の取組についての考え方</p> <p>新型コロナウイルス感染症対策をとりながら、気候非常事態宣言を踏まえた啓発活動に取り組むとともに、若年層が参加する団体にも草津市地球冷やしたい推進協議会活動へ参画していただけるよう、市内の高校・大学等の学生との意見交換会などを通じて会員加入促進事業を展開していく。</p>
--

■施策に含まれる主要事業一覧

主要事業	担当課	成果達成度 (主要事業のみ)	達成度評価理由
地域協議会運営事業	温暖化対策室	○	新型コロナウイルス感染症の影響により、草津市地球冷やしたい推進協議会の啓発機会が減少し、目標値には届かなかったものの、会員数は増加したため。

■施策に含まれるその他の事業一覧

事務事業	担当課

成果達成度の表示について

- ◎ 期待を超える成果があった
- 期待どりの成果があった
- △ 期待未満の成果であった

※施策に含まれる事務事業のうち、主要事業についてのみ記載しています。

■施策評価シート 14-02-②

まちづくりの基本目標	「暮らし」支えるまち		分野	環境
基本方針	脱炭素社会への転換		基本方針に関連するSDGsの目標	
施策番号	14-02-②	施策名	省エネルギー対策・再生可能エネルギー利用等の推進	

<p>施策の概要</p> <p>省エネルギー機器の導入・更新や再生可能エネルギーの利用促進を図るため、イベント・フォーラム・展示会等の開催や導入事例等も含めて様々な情報提供を行います。</p>

成果指標(単位)	カーボンニュートラルに向けたイベント等における啓発者数(人)				
	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
目標値	(※基準値)	630	690	750	810
実績値	568	520			

<p>成果指標実績に対するコメント</p> <p>新型コロナウイルス感染症の影響により、イベントの代替として講演や展示を中心とした内容に変更したため、目標値には届かなかったものの、昨年度と同程度の啓発の成果はあったと考える。</p>

<p>施策の達成度評価</p> <p>例年であれば、宿場まつりのほか、様々なイベント等に参加し啓発できていたものが、新型コロナウイルス感染症の影響によるイベント等の中止や規模縮小により啓発する機会が減少した。一方、令和3年度より取組を開始している、第4次草津市地球冷やしたいプロジェクト重点アクションに基づく主催セミナーでは、目標人数に達することができた。令和3年12月に行った気候非常事態宣言を踏まえ、制約があってもカーボンニュートラルに向けた取組を市民に促すことのできる、より効果的な手法を検討する必要がある。</p>
--

<p>評価に基づいた令和5年度の実施についての方針</p> <p>新型コロナウイルス感染症対策をとりながら、気候非常事態宣言を踏まえ、カーボンニュートラルに向けた取組につながるような、積極的な情報提供やイベント等を企画するとともに、イベント等の開催手法については、オンライン方式や、部局間連携した合同開催などを検討していく。</p>

■施策に含まれる主要事業一覧

主要事業	担当課	成果達成度 (主要事業のみ)	達成度評価理由
エネルギー対策事業	温暖化対策室	○	新型コロナウイルス感染症の影響はあったが、省エネルギーや再生可能エネルギー等に関して、可能な限り、情報提供を行ったため。
広報啓発活動事業	温暖化対策室	○	新型コロナウイルス感染症の影響はあったが、可能な限りイベント等を開催し、カーボンニュートラルに向けた啓発を行ったため。

■施策に含まれるその他の事業一覧

事務事業	担当課

成果達成度の表示について

- ◎ 期待を超える成果があった
- 期待どおりの成果があった
- △ 期待未満の成果であった

※施策に含まれる事務事業のうち、主要事業についてのみ記載しています。

■施策評価シート 14-03-①

まちづくりの基本目標	「暮らし」支えるまち		分野	環境
基本方針	資源循環型社会の構築		基本方針に関連するSDGsの目標	
施策番号	14-03-①	施策名	ごみの発生抑制・再使用・資源化の推進	

施策の概要

資源循環型社会の構築のため、発生抑制、再使用によるごみ発生量の削減と資源化による最終処分量の削減の取組を進めます。

成果指標(単位)	1人1日あたりの家庭系ごみ排出量(集団回収量を含む)(g/人・日)				
	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
目標値	(※基準値)	553.5	546.2	534.4	519.2
実績値	557.4	542.8			

成果指標実績に対するコメント

令和3年度の家庭系ごみ排出量(集団回収量を除く)は、26,036tで、前年度の26,582tに比べ546tの減少、令和3年度の集団回収量は、2,466tで、前年度の2,586tに比べ120tの減少となった。また、1人1日あたりの家庭系ごみ排出量(集団回収量を含む)は、目標値の553.5g/人・日に対して、実績は542.8g/人・日となり、目標値を達成することができた。

施策の達成度評価

「第3次草津市一般廃棄物(ごみ)処理基本計画」に定める1人1日あたりのごみ排出量の目標について、家庭系ごみの目標値497.1g/人・日に対して495.8g/人・日、集団回収量の目標値56.4g/人・日に対して47g/人・日となっており、それぞれ目標値を達成しているものの、循環型社会の構築に向けて今後も更なるごみの減量・リサイクルに取り組む必要がある。

評価に基づいた令和5年度の取組についての考え方

令和4年3月に策定した第3次草津市一般廃棄物(ごみ)処理基本計画に基づく、更なるごみの減量・リサイクルによる「資源循環型社会の構築」に向けて施策を推進する。2R(発生抑制:リデュース、再使用:リユース)を推進するための仕組みづくりとして、焼却ごみ類指定袋の有料購入の検討、リユース市場の拡大促進、事業系ごみ処理手数料の見直しおよび雑紙の分別周知などに取り組むとともに、持続可能な分別、収集、処理体制の確立として、市民に分かりやすいごみ分別、収集日の統合による効率的な収集および高齢者等ごみ出し支援の検討などに取り組む。

■施策に含まれる主要事業一覧

主要事業	担当課	成果達成度(主要事業のみ)	達成度評価理由
ごみ減量化推進事業	資源循環推進課	○	資源回収活動の奨励金や食品ロスの削減にかかる啓発等、ごみ減量の推進に努めた。
ごみ分別啓発事業	資源循環推進課	○	分別ブックやごみ分別アプリ等を活用し、ごみの分別啓発に努めた。
ごみ問題を考える草津市民会議活動補助事業	資源循環推進課	○	新型コロナウイルス感染症の影響により、リサイクルフェアが中止になったものの、市内一斉清掃や各種イベントでの啓発等、3Rの推進に努めた。

■施策に含まれるその他の事業一覧

事務事業	担当課

成果達成度の表示について

- ◎ 期待を超える成果があった
- 期待どおりの成果があった
- △ 期待未満の成果であった

※施策に含まれる事務事業のうち、主要事業についてのみ記載しています。

■施策評価シート 14-03-②

まちづくりの基本目標	「暮らし」支えるまち		分野	環境
基本方針	資源循環型社会の構築		基本方針に関連するSDGsの目標	
施策番号	14-03-②	施策名	ごみの適正処理	

<p>施策の概要</p> <p>効率的な収集とクリーンセンターの適正な運転管理を行います。</p>

成果指標(単位)	排ガス中のダイオキシン類測定結果(ng-TEQ/Nm ³)				
	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
目標値	(※基準値)	0.1	0.1	0.1	0.1
実績値	0.0012	0.00010			

<p>成果指標実績に対するコメント</p> <p>一般廃棄物処理施設の維持管理の技術上の基準を満たすよう運転を行った結果、排ガス中のダイオキシン類の測定値は、法令で定められた基準値の1ng-TEQ/Nm³はもちろんのこと、目標値である0.1ng-TEQ/Nm³も満たすことができました。</p>

<p>施策の達成度評価</p> <p>各家庭から排出される廃棄物を効率的に収集し、クリーンセンターについては、これまでどおり適正な運転管理に努めた。</p>
--

<p>評価に基づいた令和5年度の取組についての考え方</p> <p>各家庭から排出される廃棄物を効率的に収集し、生活環境の保全に努めるとともに、排ガス中のダイオキシン類の濃度については法令で定められた施設の基準値(1ng-TEQ/Nm³)の10分の1である0.1ng-TEQ/Nm³を自主基準値として定め、この自主基準値を超過することのないよう、引き続きごみを適正に処理していく。</p>
--

■施策に含まれる主要事業一覧

主要事業	担当課	成果達成度 (主要事業のみ)	達成度評価理由
ごみ収集運搬事業	資源循環推進課	○	各家庭から排出される廃棄物を効率的に収集し、生活環境の保全に努めた。
クリーンセンター管理運営事業	資源循環推進課	○	計画的・定期的な施設の補修やごみ処理施設を適正に運転・維持管理することができた。

■施策に含まれるその他の事業一覧

事務事業	担当課
ごみ分別啓発事業	環境政策課
湖南広域行政組合運営負担金事務	資源循環推進課
広域廃棄物埋立処分場建設費負担金事業	資源循環推進課
指定ごみ袋購入配布事業	資源循環推進課
草津市処分場管理事業	資源循環推進課

成果達成度の表示について

- ◎ 期待を超える成果があった
- 期待どおりの成果があった
- △ 期待未達の成果であった

※施策に含まれる事務事業のうち、主要事業についてのみ記載しています。

■施策評価シート 14-03-③

まちづくりの基本目標	「暮らし」支えるまち		分野	環境
基本方針	資源循環型社会の構築		基本方針に関連するSDGsの目標	
施策番号	14-03-③	施策名	環境美化の推進	

<p>施策の概要</p> <p>ごみの不法投棄防止のための定期的なパトロールの実施をはじめ、市民・地域・事業者・行政等が協力・連携し環境美化に努めます。</p>
--

成果指標(単位)	不法投棄ごみ率:不法投棄ごみ量/ごみ発生量(%)				
	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
目標値	(※基準値)	0.03	0.03	0.03	0.02
実績値	0.03	0.04			

<p>成果指標実績に対するコメント</p> <p>新型コロナウイルス感染症の拡大により、自粛されていたボランティア清掃活動が、コロナ禍においても、感染対策を徹底しながら実施されたことで、不法投棄ごみ率は増加したものの、定期的なパトロールによる監視活動や町内会によるボランティア清掃活動など、市民・地域・事業者との連携による取組の結果、生活環境の保全を図ることができた。</p>
--

<p>施策の達成度評価</p> <p>不法投棄の発生が懸念される場所について定期的なパトロールを行うとともに、ボランティア活動団体との協働による不法投棄物の回収に努めたことで、生活環境の保全を図ることができた。</p>

<p>評価に基づいた令和5年度の取組についての考え方</p> <p>パトロールによる監視を引き続き実施するとともに、監視カメラの有効活用など、不法投棄対策に引き続き取り組む。また、悪質性が高いと判断した場合は、警察への通報も含め、地域と連携し解決を図る。</p>

■施策に含まれる主要事業一覧

主要事業	担当課	成果達成度 (主要事業のみ)	達成度評価理由
不法投棄対策事業	資源循環推進課	○	定期的なパトロールによる監視やボランティア団体との協働による不法投棄物の回収等によって、生活環境の保全に努めた。

■施策に含まれるその他の事業一覧

事務事業	担当課
生活環境等対策事業	資源循環推進課

成果達成度の表示について

- ◎ 期待を超える成果があった
- 期待どおりの成果があった
- △ 期待未満の成果であった

※施策に含まれる事務事業のうち、主要事業についてのみ記載しています。